

# 第11回 学生のためのガクモン講座



## ルーツをたどる

『アリラン峠を越えていくー在日コリアン音楽の今』  
上映会・座談会

第1部

16時20分～17時50分

『アリラン峠を越えていくー在日コリアン音楽の今』上映

解説：高正子

第2部

18時～19時

パンソリ公演（パンソリ：安聖民, 鼓手：趙倫子）

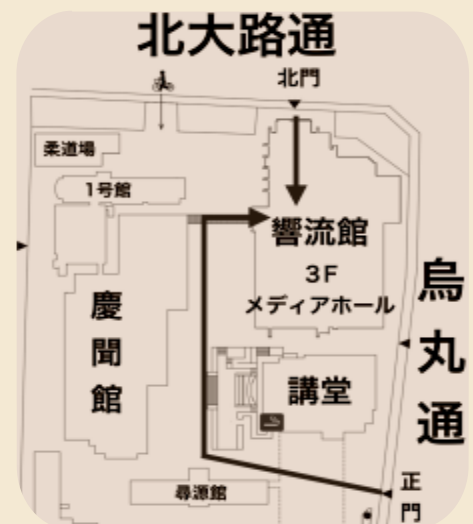
ディスカッション（本学助教も参加）

開催日：2018年 11月2日（金）

時間：16時20分～19時

場所：大谷大学響流館 3F  
メディアホール

参加費、事前申し込み不要 各部のみの参加も可能  
多数のご来聴をお待ちしております



# 第11回 学生のためのガクモン講座

ドキュメンタリー映画『アリラン峠を越えていくー在日コリアン音楽の今』について

2014年7月に「国際伝統音楽学会」の「マイノリティの音楽」部会が国際シンポジウムを国立民族学博物館で開催した。それに合わせて7月20日、「アリラン峠を越えてゆくー在日コリアン音楽の今」というタイトルで研究公演が行われた。その公演は在日コリアンの音楽活動のなかでも民族音楽の継承を実践している歌姫を招いて、その思いや音楽とともに体験するという企画であった。そこには南の音楽を継承するパンソリ唱者である安聖民氏、北の音楽を継承する金剛山歌劇団の団員、そして、在日コリアンの思いを託して音楽活動をしている李政美氏が出演した。三者は、それぞれの持ち歌を披露し、最後にアリランをメドレーで共演した。この研究公演には、在日コリアンの心の中にある38度線を少し往来するような感覚があった。お互いを尊重しあい重なる「声」の響きは、なんとも心地よい空間を醸し出していた。この公演をきっかけに、出演者たちの音楽に対する思いを2年にわたり取材し、映画化した。（高正子）

## 出演者



解説：高正子（コ・チョンジャ）

大阪生まれのコリアン2世。

総合研究大学院大学で韓国の仮面劇を研究し、学位取得。

現在、在日コリアンの生活や民俗芸能継承を研究している。



パンソリ唱者：安聖民（アン・ソンミン）

大阪市生野区生まれ。私立関西大学文学部史学・地理学科卒。

1998年 韓国留学。

2002年 漢陽大学音楽大学院国楽科修士課程修了。

重要無形文化財第5号パンソリ「水宮歌」技能保有者・南海星先生に師事し、2016年履修者認定。

2013年 第40回南原春香国楽大典・名唱部にて審査員特別賞受賞。2016年ソウルと大阪にて「水宮歌」完唱公演。



鼓手：趙倫子（チョ・リュンジャ）

大阪府大東市生まれ。韓国東亜大学校日語日文学科修士課程修了。

2008年より民族文化牌マダンにて活動。楽士はもとより、創作パンソリやマダン劇の脚本をてがける。

参加費、事前申し込み不要

第1部のみ、第2部のみでの参加も可能です

多数のご来聴をお待ちしております